

あきる野市 消防団広報



創刊号

平成 25 年 3 月

発行

あきる野市消防団広報部

「消防団」という言葉を聞いたことがありますか？

消防団は、発足から今に至るまで火事や様々な自然災害から町を守ってきました。

そこには、自分達の住む街を自分達の手で守りたいという思いがありました。

そしてその思いは、団員から団員へと受け継がれています。

しかし今では、少子高齢化や地域のつながりが希薄になったことにより、消防団の団員数は以前に比べて随分と減ってきてしまいました。

災害は待ってくれません。

私達の街の防災、安全、安心のために、みなさんの力を貸してください。



発刊にあたり



あきる野市消防団長
上野 章

平素より消防団の活動に対しご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、あきる野市消防団広報誌を創刊致しました。消防団の活動を知って頂くと共に、地域防災の一助として頂ければ幸いです。

消防団員は火災などの災害発生時には、現場に駆け付け消火活動を行い、平常時においても警戒・広報活動を行うなど消防防災のまさに第一線を担う活動をしています。また、地域に密着した消防機関として、住民との交流を含め地域防災力を強化していくことは、災害に強いまちづくりを実現するために欠く事の出来ないものです。

地域の安全と安心を守る消防団に対し、一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。発刊の挨拶とさせていただきます。

創刊にあたって



あきる野市長
白井 孝

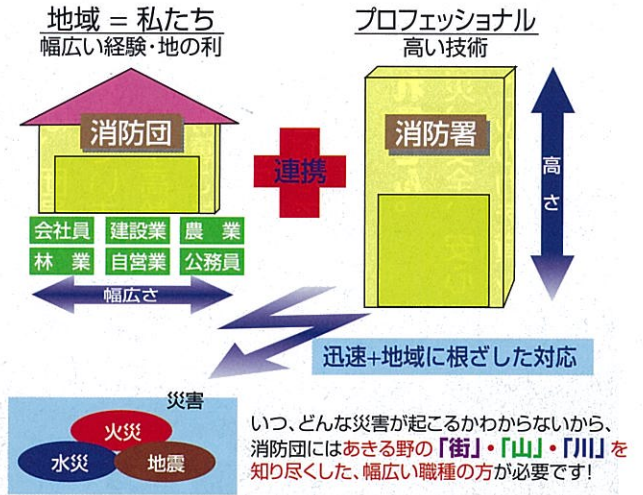
あきる野市消防団広報誌の創刊おめでとうございます。

消防団員の皆様には、地域の防災活動に昼夜を問わず献身的にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。また、その活動を支えてくださっておりますご家族の皆様に対しましても、厚く御礼申し上げます。

さて、消防団には、身近な地域の守り人として、市民の皆様の安心と安全を守るという大変重要な役割を担っていただいております。この度の、広報誌の創刊により、市民の皆様には消防団活動について広く知っていただく機会となることを期待しております。

今後、「自らの地域は自らで守る」ため、地域防災の要として、より一層のご尽力をお願いいたします。ご挨拶とさせていただきます。

消防団とは



☆消防団の位置づけ...

消防団とは、地元の消防防災リーダーとして、その地域に「住んでいる」「働いている」人によって構成される市の消防機関です。

消防団員には、商店、農林業、会社員や様々な職業の人がいます。火災や災害時にはいち早く自宅や職場から現場へ駆けつけ、被害の拡大を防ぎます。

☆消防団の活動...

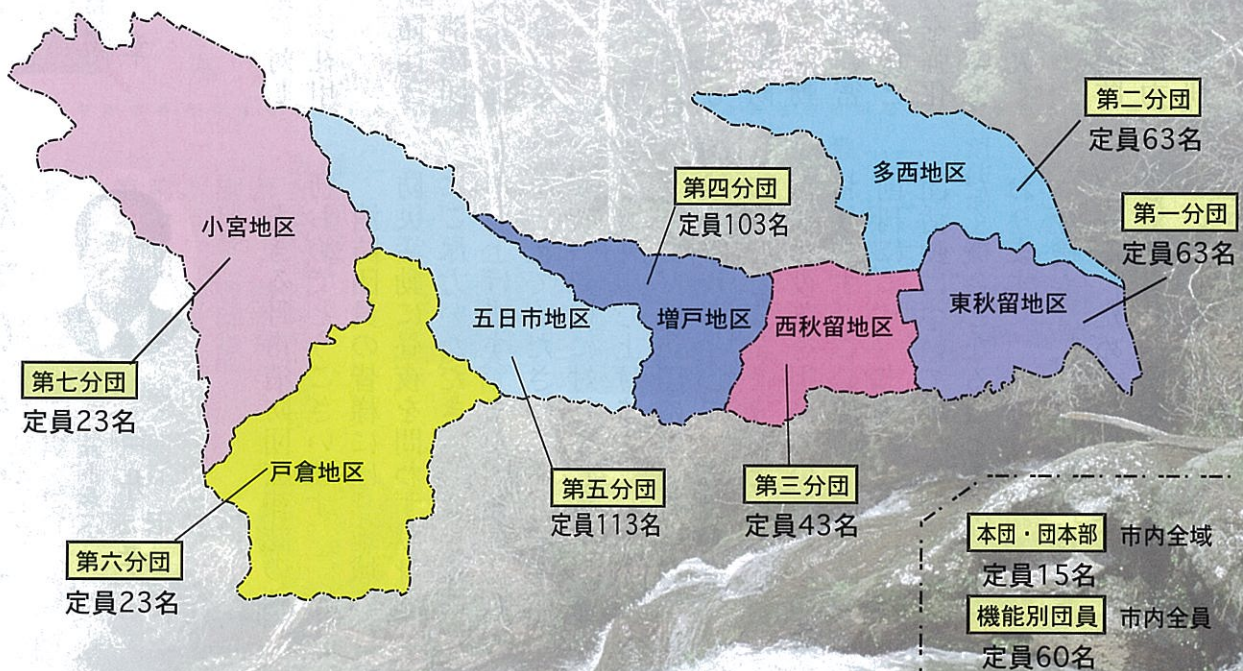
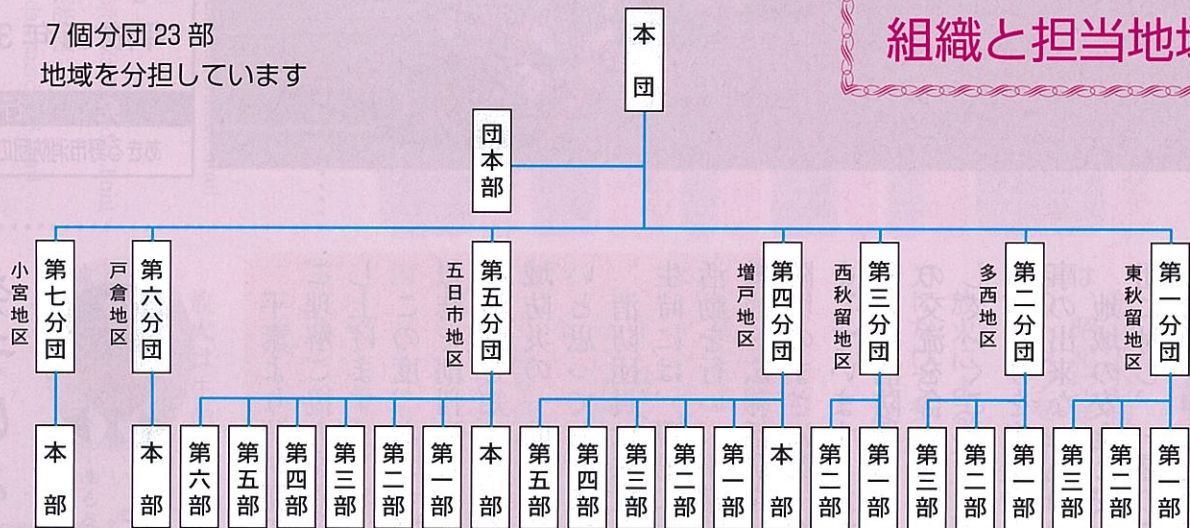
消防団活動に必要な知識、技術などを習得するための講習会や研修会に参加する機会があります。

例：上級救命講習など

また、火災予防運動、防災週間、年末の警戒や地域の催し物が行われるときに、災害を未然に防止するため、火災予防の呼びかけや警戒活動を行っています。

組織と担当地域

7 個分団 23 部
地域を分担しています



消防団はこんな活動をしています



消火栓点検

万が一の災害に備え、防災器具の点検を行います。



入退団式

2年ごとに入退団式が行われます。入団者や幹部に辞令を交付します。



市消防操法大会

消火活動の技術を競い合う大会が2年に1度開かれます。



上級救命講習

火災だけでなく様々な災害に備えた技能を修得します。



歳末特別警戒

年末の火災のおきやすい時期に警戒活動を行います。



広報活動

産業祭などのイベントで広報活動をしています。



文化財防護訓練

市内の歴史ある文化財を守るための訓練も行います。



火災予防週間

春・秋の火災予防週間には、見回りやPRも行います。



市総合防災訓練

町内会・自治会などと連携し、防災訓練を行います。



出初式

毎年1月には出初式が行われます。消防団の仕事初めです。





募集要件

一緒にあきる野市を火災・災害から守ってくれる仲間を募集しています。

- ◎資格：市内在住・在勤の18歳以上の男性の方ならどなたでも大歓迎。(40歳定年)
 - ◎興味のある方は下記までご連絡下さい。活動の見学もできます。
- 問い合わせ先：あきる野市役所地域防災課
TEL 042-558-1111(内線2342/2343)

消防団 Q & A

- Q1 消防車の運転は普通免許で大丈夫ですか？
あきる野市では5t以下の車両なので大丈夫です。しかし、サイレンを鳴らしての緊急走行は免許取得後2年未満の場合運転できません。
- Q2 現在消防団員は何名いるのですか？
平成二十五年一月現在四七五名です。
- Q3 どのような訓練をしているのですか？
消防器具の操作など、災害を想定した訓練をしています。
- Q4 女性の消防団員はいますか？
あきる野市では女性団員はいません。
- Q5 消防団の活動中にケガをしたらどうなるんですか？
訓練や災害活動中にケガをした場合は公務災害として補償されます。
- Q6 消防団員になって良かったと感じるところは？
地元の方に「消防団がいるから安心して暮らせる」と言われたことや、年齢を超えた人間関係を築けることです。

関連ウェブサイト

- ◆総務省消防庁消防団
オフィシャルウェブサイト
<http://www.fdma.go.jp/syobodan/ntr/index.html>
- ◆首都消防庁
〈首都東京を守る消防団〉
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-dankai/index.html>
- ◆東京都 あなたの街の消防団
<http://www.fdma.go.jp/syobodan/search/13.html>
- ◆秋川消防署
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-akigawa/>

放火による火災防止

放火及び放火の疑いによる火災は、昭和52年以降連続して火災原因のトップを占めています。

放火による火災は夜間から明け方にかけて多く発生しています。次のような点に気をつけましょう。

- 一家の周りには燃えやすいものは置かない
- マンションやアパートの廊下、階段、駐輪場等、共用部分には燃えやすいものを置かない
- 工場や倉庫には施設をし、照明器具を設置するなど外部からの侵入を防ぐ
- ゴミは決まった場所、時間に出すようにする
- 車やバイクのカバーには不燃性のものを使用する

放火は生命や財産を脅かす、極めて悪質な犯罪です。放火されにくい地域作りを心掛けましょう。



編集後記

広報部が発足して1年半、産業祭などでのPRを中心に活動して参りましたが、今回広報誌を発行することになりました。

消防団といえば、「人付き合いが面倒」「危ない」「休日が無くなる」など、悪いイメージを持たれていることが多いです。しかし入ってみれば、地域の皆様や消防団員同士など、異業種・異世代の多くの人のつながりがとても新鮮で、得るものも多いと感じられます。

この広報誌を見て、こんな活動もしているんだなあ、と思って頂ければと思います。一人でも多く、入団希望者が増えていくように、よりわかりやすくPRしていきたいと思えます。



- 《編集委員》
あきる野市消防団広報部
部長 齋木敏行
副部長 道岡稔明
- 第一分団 中村大輔 富樫 研
 - 第二分団 平野 聡 小川高志
 - 第三分団 道岡稔明 武内誠之
 - 第四分団 中村 勉 岸 信介
 - 第五分団 齋木敏行 高水 諭
 - 第六分団 小峰智泰 岩田衣織
 - 第七分団 浦野晃司 土屋宏貴